



第50回創造祭

百花繚乱

書道研究会



雄飛ホールにて、開会式に引き続いて、書道パフォーマンスを行った。部員の息のあった動きは、見るものをあっと驚かせるほどの迫力があった。また、音楽と合わさった書はとても格好よく、見たものに感動を与えていた。

ABORN(K-POPコピーダンス)



小講堂にて、コピーダンスを中心に全8曲を披露した。ABORNは学年や男女の隔てがなく、それぞれのチームが日々の練習の成果を堂々と熱演した。キレのある、情熱的で可愛いダンスによって多くの人々を魅了し、まるで時間を忘れさせるほどだった。

モダンジャズ研究会



小講堂にて、モダンジャズ研究会は、音楽に対する熱意と高い技術力が結集した演奏を披露した。特に、セッション演奏とソロ演奏の相互作用が緻密に練られており、聴衆を魅了して、ジャズに関心のある人は必聴のライブであった。

第50回創造祭が5月31日(水)〜6月3日(土)に開催された。今回のテーマは「多種多様な花が咲き乱れること」を意味する「百花繚乱」。文化系団体の成果発表の場として、咲き誇った花のように多彩な展示・パフォーマンスが行われた4日間となった。

Overlap(アカペラ)



小講堂にて、5人から6人ずつの少人数体制で全6曲を披露した。魅力的な歌声でメロディーを口ずさむセンターをはじめとし、巧みなボイスパーカッションなどメンバー全員で、訪れた人々の記憶に残る幻想的なハーモニーと空間を創り出していた。

写真部



学生センターにて、「夏の訪れ」をテーマにした写真部による40点の作品が展示された。テーマパーク、色とりどりの花、電車など、様々なモチーフで「夏」を感じさせる写真が並んだ。また、来場者が気に入った作品を選んで投票も行った。



編集後記

11月の『Do! 獨協大学ニュース』では「創造祭」についての記事を盛り込みました! キラキラ輝く笑顔とエネルギッシュに活動する姿に、たくさんの元気をもらいました。取材・写真撮影にご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございました!

取材・撮影・誌面構成: 庄司 光希(総3年) / 片柳 月奈(言2年) / 土屋 日花莉(律2年)